



新人巫女さん二人迎えて

延喜式内林神社の歳旦祭

十兆ほど降り積もった雪の中
卯年の歳旦祭が午前五時より、
延喜式内
林神社に
於いて厳
粛に齋行
された。宮
司の祝詞奏
上に続いて、
林さん、
ゆりさん
(菊造さん
方)、野松
佳奈子さ
ん、開田
美保さん

(勇さん方)、齋藤玲奈さん
(昇宗さん方)、林蒼葉さん
(要知さん方)、八田萌絵さん
(正美さん方)、ら六人の巫女さん



平成23年1月1日午前0時の林神社

の舞の奉奏や縁起物の初売りなどが厳かなうちに華やかに執り行われました。また、今年、喜寿、古希、還暦、初老、厄年を迎えた方々三十人余りが参列され、それぞれの願いを込めて玉串を奉奠されました。ご芳名は以下の通りです。

二十五歳厄祓い
開田 健吾 北明

- | | |
|---------|-----|
| 開田 崇太 | 西川原 |
| 高島 祐太 | 公文名 |
| 三十三歳厄祓い | |
| 齋藤小夕希 | 善導 |
| 齋藤幸恵 | 北明 |
| 四十二歳厄祓い | |
| 五官 修央 | 北明 |
| 林 忠史 | 公文名 |
| 還暦 | |
| 林 久 | 川原 |
| 開田 陸秋 | 西川原 |
| 林 正範 | 善導 |
| 古希 | |
| 八田 誓治 | 正覚 |
| 林 武雄 | 坂東 |
| 林 清二 | 正覚 |
| 林 美子 | 川原 |
| 齋藤 澄子 | 川原 |
| 喜寿 | |
| 林 要矩 | 公文名 |
| 林 泰子 | 坂東 |
| 坂東 彼 | 公文名 |

書き初め天高く

公文名で伝統行事左義長

その昔、宮中で青竹を束ねて立て毬杖三本を結び、その上に扇子や短冊などを添え、正月の縁起物を焼いたのが始まりと言われる日本古来の伝統行事左義長が、今年も公文名で行われました。

本来は小正月（正月十五日）に行われるものですが、近年は成人式前後の連休を利用するようになり、今年も十六日に行われました。常会役員を中心に早くから藁、廃材、孟宗竹



などの材料を集め櫓にくみ上げた左義長に、夕刻五時半過ぎ火が入れられ、子供達が書道の上達を願って、火中に投げた書き初めが天高く舞い上がりました。左義長の火で焼いた餅を食べるとその年の病を除くと言われている。当日も参加者が餅や芋を持ち寄り、暖を取りながらおいしそうに賞味していました。昔に比べ子供たちの少ないのが、いささか物足りなく思われます。



火勢 最高潮！

般老連高齢者学級

二月十日午後一時三十分
般若農村改善センター

記念講演
講師 「北陸の天神様かざり」の著者
西村 忠氏 (南砺市福野在住)

北陸特に富山県では、正月に天神様を飾りますが、従来、それは加賀藩主前田家の祖先が菅原道真であるとの説が流布したことに由来するものとされてきました。西村さんは金沢の金融機関にお勤めの折、お膝もと金沢ではその風習が無いことに疑問を感じられ、いろいろと研究された結果、天神様飾りが庶民に広がったのは明治以降であり、幕末の福井藩主松平春嶽が領民に天神画像を飾ることを奨励し、それが売薬さんを通じて富山に伝播（でんぱ）したのでないかとの推論を打ち出されました。正月、何気なく飾っている天神様について興味深いお話が聞けます。ぜひご聴講ください。

該当者全員の加入を目指して

今年度は昭和二十一年四月二日から昭和二十二年四月一日の間に生まれた方々(小学校昭和三十三年年度卒業生)が光寿会の加入対象者となります。

光寿会は伝統的に全国でもトップクラスの高い加入率を維持しています。高齢者同士の連帯感を高め、親睦を深め、福祉・健康などを増進するため、該当する方々全員に加入を勧めましょう。

戦後のベビーブーム世代が光寿会へ

終戦後

昭和二十二年から二十四年にかけての間に、出生数が爆発的に増え、戦後のベビーブーム世代が生まれました。この世代のことを、堺屋太一が、『団塊の世代』と名付けましたが、その人たちが戦後六十年を経た今、いよいよ光寿会に加入される頃になりました。左に掲げたのは昭和三十年以降の一般若小学校的卒業生数の推移です。昭和二十二年、終戦の年に生まれた人たちが卒業した昭和三十三年、この年度は、昭和二十二年の卒業生に比べて、約二倍の人数が参加されました。この数字は、戦後のベビーブーム世代が光寿会へ加入していることを示しています。

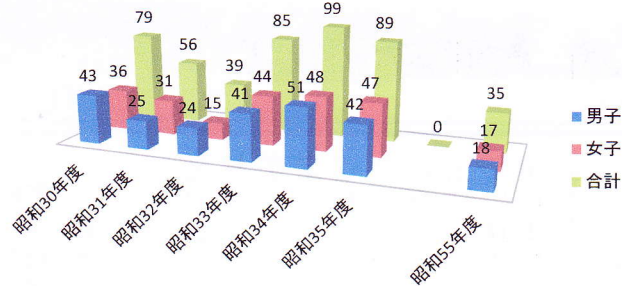


32年度卒 39人



33年度卒 85人

般若小学校的卒業生数



昭和三十三年、この年度は、昭和二十二年の卒業生に比べて、約二倍の人数が参加されました。この数字は、戦後のベビーブーム世代が光寿会へ加入していることを示しています。

らんじよ浮世亭 だより

あいに、29名の皆さんが参加され、楽しいひとときを過ごしました。

今回は、年始め恒例の新春お楽しみ会で、卯年にちなんだピョンピョン風船割り、ペタンコ、ビンゴ、福引きなどで楽しいひとときを過ごしました。ゲームはいずれも浮世亭創作のもので、ペタンコに似たペタンコ、耳に針のついた兎のお面をかぶっての風船割りなどは、ゲームに入る前の練習だけで笑いの渦に包まれるような賑わいでした。午後の書写・朗唱の集いは、年の初めから新たに仏説観無量寿経に挑戦することとなり、「王舎城の悲劇」の物語を軸に展開する観無量寿経冒頭の部分を書きました。

次回は2月16日(水)です

光寿会初の試みである「**光寿会会員作品展**」が開かれます。会員の皆さんが、日頃趣味として書きためたり作りためたりしたいろいろな作品が展示される予定です。午後の書写・朗誦の集いはお休みで、当日は終日、鑑賞やお茶を飲みながらの団らんの一日ですので、いつでも都合のつく時間にご来亭ください。



ここ数年の年間出生数は百万人あまり、それ比べて団塊の世代の人たちのそれは二百五十万人あまりで、すし詰めの教室、狭い就職の門など、何かにつけ苦勞の多い人生を生きながら、

追記 伊達直人名でのランドセルの寄付はその後全ての都道府県に広がりまし。

「**いかるぎ 鶉**」

年末から年始にかけて、群馬と神奈川の児童相談所に「伊達直人」を名乗る人物が現れた。その名は「伊達直人」の幼名で、本名は「伊達直人」の幼名である。伊達直人は、群馬県で生まれ、その後、神奈川県の伊達直人児童相談所に送られた。伊達直人は、群馬県で生まれ、その後、神奈川県の伊達直人児童相談所に送られた。伊達直人は、群馬県で生まれ、その後、神奈川県の伊達直人児童相談所に送られた。

会員の慶弔
弔事
八田 トミ 様
一月二十五日死去
享年九十五歳
謹んでご冥福をお祈りいたします。

会員作品展

2月16日
9:00~16:00

2月行事予定表

1日	光寿会定例役員会
10日	般老連・高齢者学級閉講式 記念講演会 (一面に案内記事)
11日	頼成自治会総会
16日	らんじよ浮世亭・作品展
25日	光寿会新旧合同役員会

今年度の光寿会定期総会は3月10日開催の予定です。

世界第二位の経済大国を築き上げた筋金入りの世代です。この世代の人たちがこれからの人生をどう生きるか、という名称を返上したいほど活性化することです。